令和 5 年 12 月 12 日
国土交通省関東地方整備局港湾空港部
鹿島港湾･空港整備事務所
東京湾口航路事務所

低炭素型材料を活用する試行工事を実施します

～港湾工事等から排出される CO_2 量の削減を進めます～

港湾工事等から排出される CO_2 量の削減に向け、低炭素型材料活用試行工事を実施します。

港湾工事等から排出される CO_2 量の多くは、材料由来のものが占めている状況です。このため、関東地方整備局港湾空港部では、低炭素型材料の活用に向けた検討を進め、2023 年 3 月に低炭素型材料を活用する際の基本的な考え方を示した「港湾工事等における低炭素型材料の活用マニュアル」を取りまとめました。

今般、実際の工事において低炭素型材料を活用することで、低炭素型材料の施工性の確認や低炭素型材料の活用に際して配慮が必要な事項の明確化を通じ、低炭素型材料の活用を一般化することを目的として、低炭素型材料を活用する発注者指定型の試行工事を実施します。

○令和 5 年度　鹿島港外港地区南防波堤築造工事
《活用する低炭素型材料》コンクリート（高炉セメント C 種（相当品含む））
《通常使用する一般材料》コンクリート（高炉セメント B 種）
《CO_2 排出量削減率》約 35%　※材料由来の CO_2 排出量のみ考慮

○令和 5 年度　東京湾中央航路東側護岸他付帯工事
《活用する低炭素型材料》鉄鋼スラグ水和固化体
《通常使用する一般材料》コンクリート（高炉セメント B 種）
《CO_2 排出量削減率》約 80%　※材料由来の CO_2 排出量のみ考慮

（HP 参考）関東地方整備局 CNC でインターネット検索して下さい。

＜発表記者クラブ＞
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、茨城県政記者クラブ

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局　港湾空港部 港湾事業企画課【取組全般に関すること】
電話：０４５－２１１－７４１７　メールアドレス：pa.ktr-teitanso@gxb.mlit.go.jp
･課長補佐　森川　忠泰　（もりかわ ただやす）

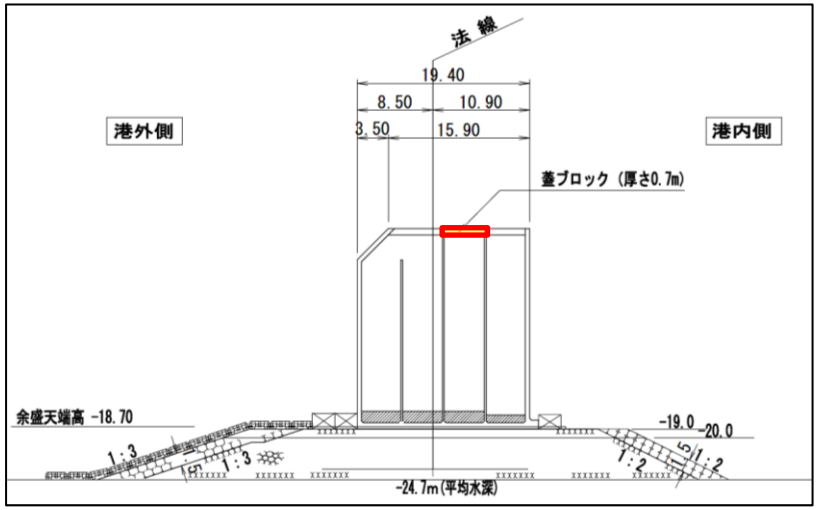
鹿島港湾･空港整備事務所　第一建設管理官室【工事に関すること】
電話：０２９９－８４－５４４１　メールアドレス：pa.ktr-teitanso@gxb.mlit.go.jp
･先任建設管理官　狭間　松博（はざま　まつひろ）

東京湾口航路事務所　工務課【工事に関すること】
電話：０４６－８２８－８３６５　メールアドレス：pa.ktr-teitanso@gxb.mlit.go.jp
･課長　工藤　博幸　（くどう　ひろゆき）

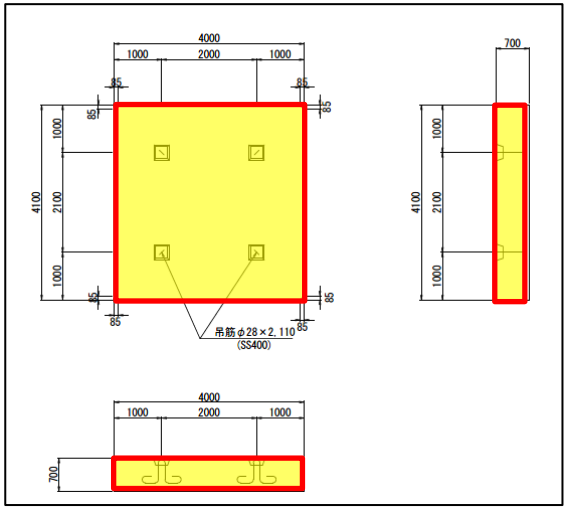
【工事概要】令和5年度　鹿島港外港地区南防波堤築造工事

＜対象工種＞
〇本体工
・蓋ブロック製作・据付　1個
＜活用する低炭素型材料＞
〇コンクリート（高炉セメントC種（相当品含む））
＜通常使用する一般材料＞
〇コンクリート（高炉セメントB種）
＜CO_2排出量削減率＞
〇約35%　※材料由来のCO_2排出量のみ考慮

凡　例
低炭素型材料活用部



図－1　ケーソン断面図

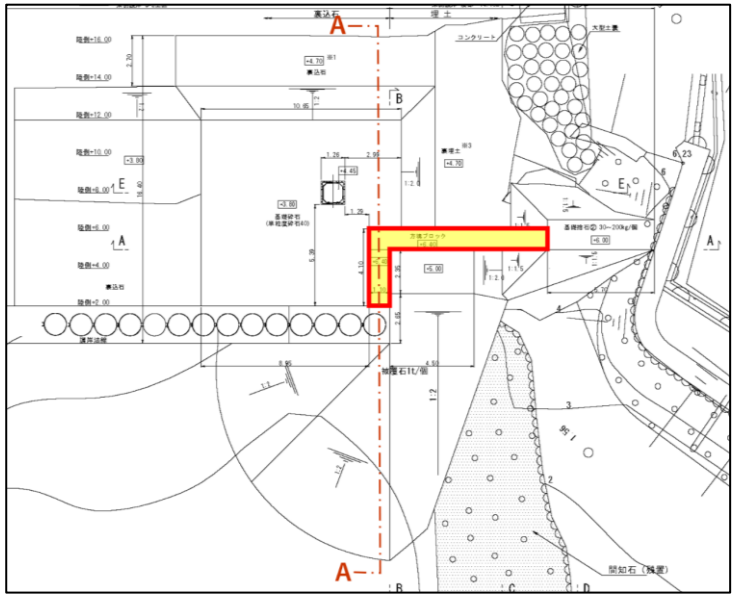


図－2　蓋ブロック製作図

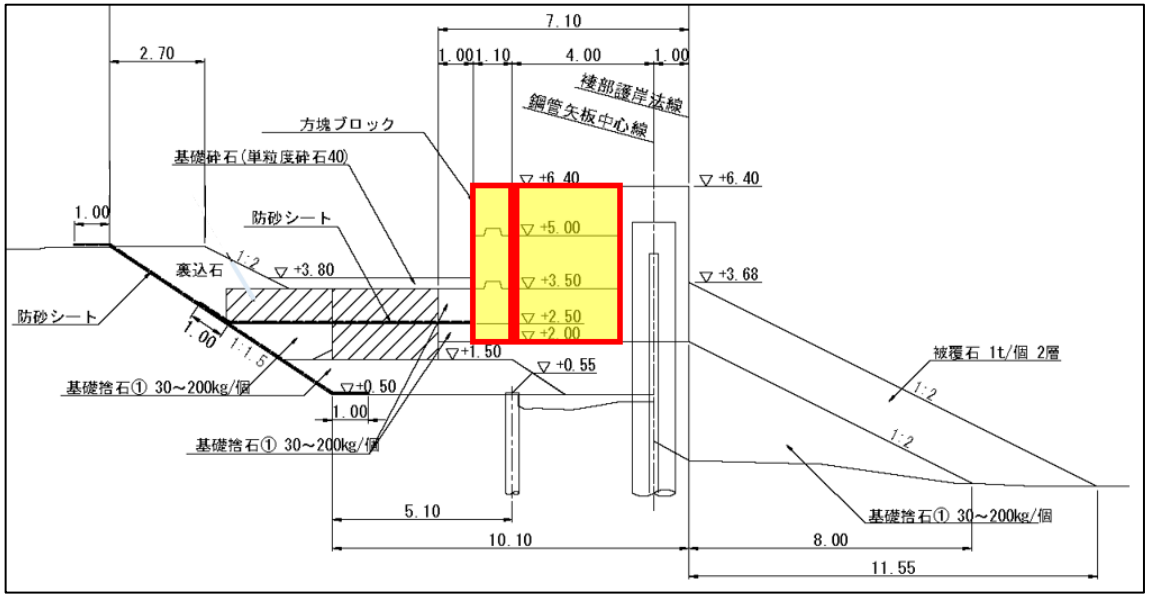
【工事概要】令和5年度　東京湾中央航路東側護岸他付帯工事

＜対象工種＞
　〇本体工（ブロック式）
　　・本体ブロック製作・据付　19個
＜活用する低炭素型材料＞
　〇鉄鋼スラグ水和固化体
＜通常使用する一般材料＞
　〇コンクリート（高炉セメントB種）
＜CO_2排出量削減率＞
　〇約80%　※材料由来のCO_2排出量のみ考慮

凡　例
低炭素型材料活用部



図－1　平面図



図－2　断面図　（Sect. A－A）